



公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり
～富山市のLRTをはじめとした公共交通活性化の取り組み～

富山市副市長 中村 健一



富山市の近代化の歩み

富山市のまちづくりにおける3つのステージ

1. 都市計画黎明期の大土木工事の英断

課題

市中心部で大きく蛇行して流れる神通川は、幾度も氾濫を繰り返し市街地に甚大な被害をもたらしていた。蛇行部分のバイパスとなる馳越水路の完成により水害は減少したが、旧流路である廃川地が市街地を南北に分断し、また、神通川河口にあった東岩瀬港は、水源地の荒廃等により機能を失っていた。さらに、明治41(1908)年の富山駅開業が、南北市街地の分断の淵源となっていった。

取り組み

神通川の改修工事に加え、新たに富岩運河を開削し、その掘削土で廃川地を埋め立てるという一石二鳥の大土木工事により、東岩瀬港は近代的港湾として整備されるとともに、廃川地では県庁や電気ビル等が建設され、市街地の整備が進展した。さらに運河周辺には、多くの工場が誘致され、経済恐慌化にありながら、「大富山」建設が進められた。

2. 戦災復興とソーシャルキャピタル

課題

8月1日深夜から2日未明の大空襲により市街地の99.5%が焦土と化し、地方都市として人口比で最も多くの犠牲者を出すこととなった。

取り組み

同日(2日)中に、知事と市長が対応を協議し、政府の指示に先駆けて戦災応急措置を実行。また、全国115の戦災復興都市計画の第一号認可を受け、城址大通りと平和通りを新富山市の骨格とする中心街路とした。戦前は地権者の同意が得られず、整備が進まなかった旧城下町地域が、区画整理事業により換地が進められ、復興に向けて一丸となった市民の理解や不断の努力により、幅員36mの城址大通りが完工した。爾来、各種都市機能が充実した日本海側有数の中核都市として再生を遂げることとなった。

3. 百年の夢の実現 南北一体化

課題

やがて到来するであろう本格的な人口減少と超高齢社会を見据え、自動車に依存した拡散型のまちづくりから、現在市民だけではなく将来市民のために、これまでとは次元の異なる持続可能な都市構造への転換が急務となっていた。

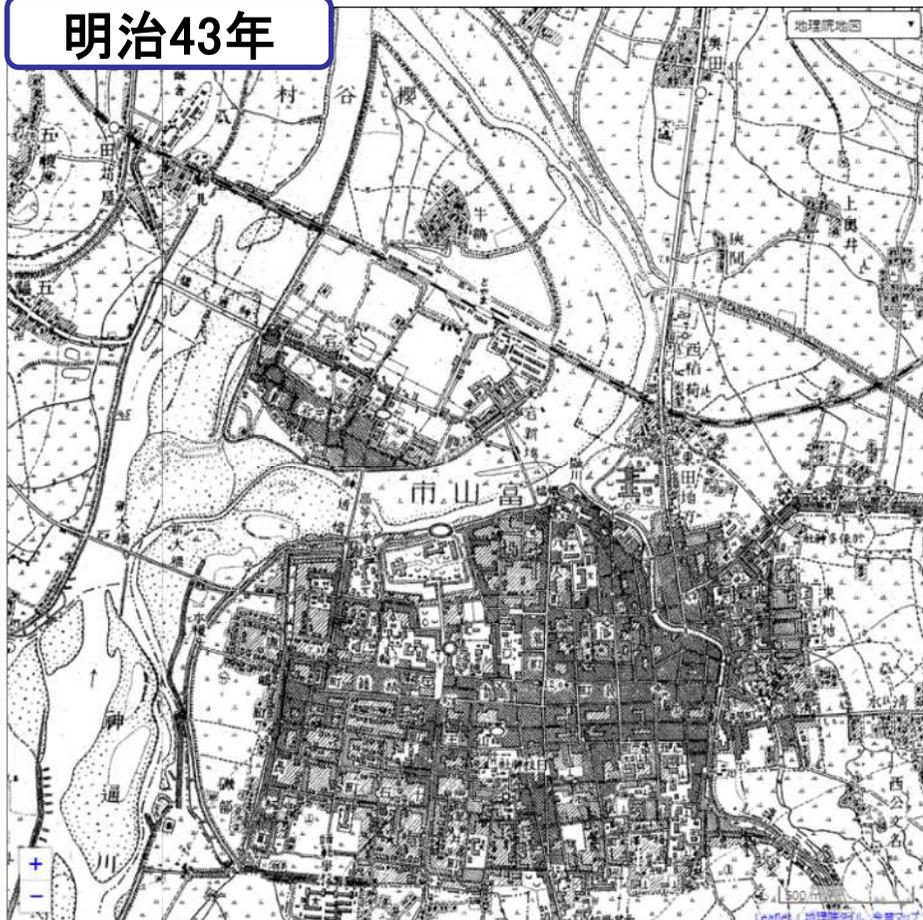
取り組み

「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」の取り組みを表明し、市長自らが120回以上市民への説明を行ったことに加え、日本初の公設民営方式による富山ライトレールの開業や上下分離方式による市内電車環状線化を実現。さらに、明治41(1908)年の富山駅開業以降、南北市街地の分断が大きな課題となっていたが、路面電車の南北接続事業の完成により、富山市民百年の夢である南北一体化が図られる。

富山市の昔と今

明治43年の富山市は、新たに発展しつつある富山駅周辺地区と富山城址を中心に発展した旧来の市街地が神通川の蛇行部分及び鉄道線路に挟まれていて、南北に分断されていた。
また、市街地は城下町の屈曲した街路が残っている。

明治43年



現在



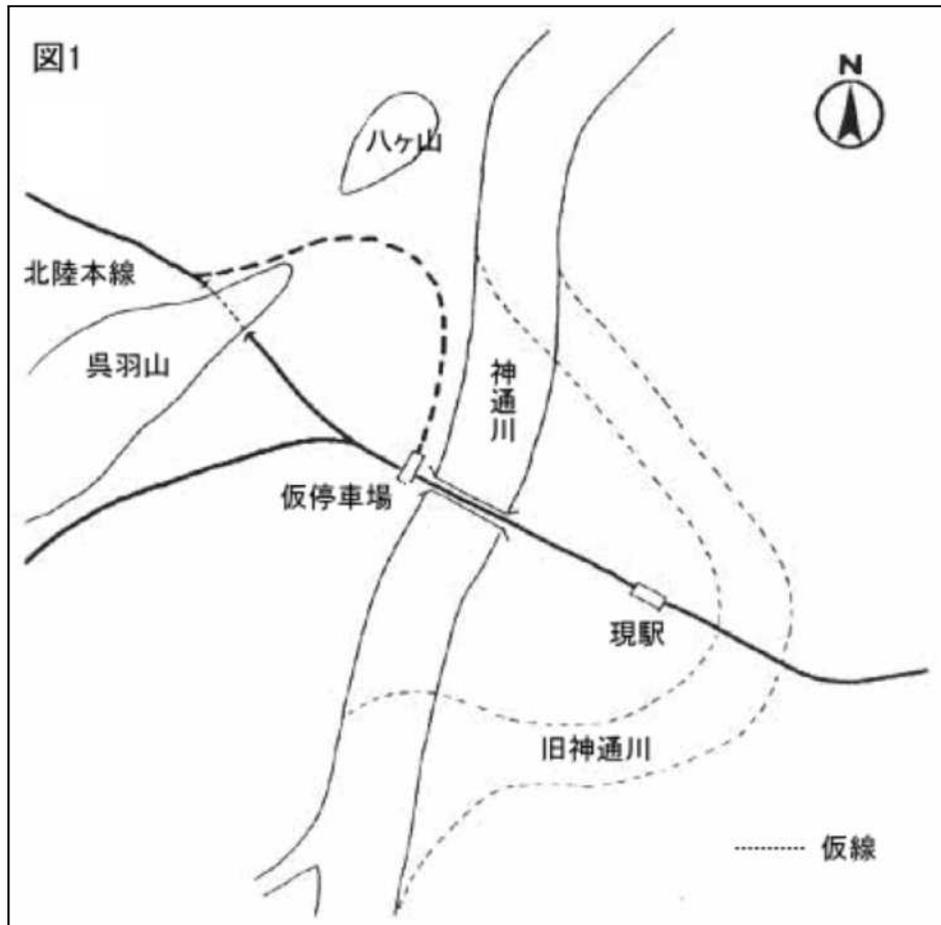
時系列地形図閲覧サイト「今昔マップ on the web」埼玉大学教育学部」

明治41年富山駅開業 ～南北分断の淵源～

馳越線工事の関係で、田刈屋に仮駅(仮停車場)が置かれていた富山駅が、明治41年に開業(現駅)した。



鉄道線路が牛島地内と橋北(元舟橋、後の神通橋の北の市街)との交通を遮断
→南北市街地の分断化の淵源となった。



田刈屋の富山駅 駅前広場 左側が駅舎



明治41年に開業した駅舎

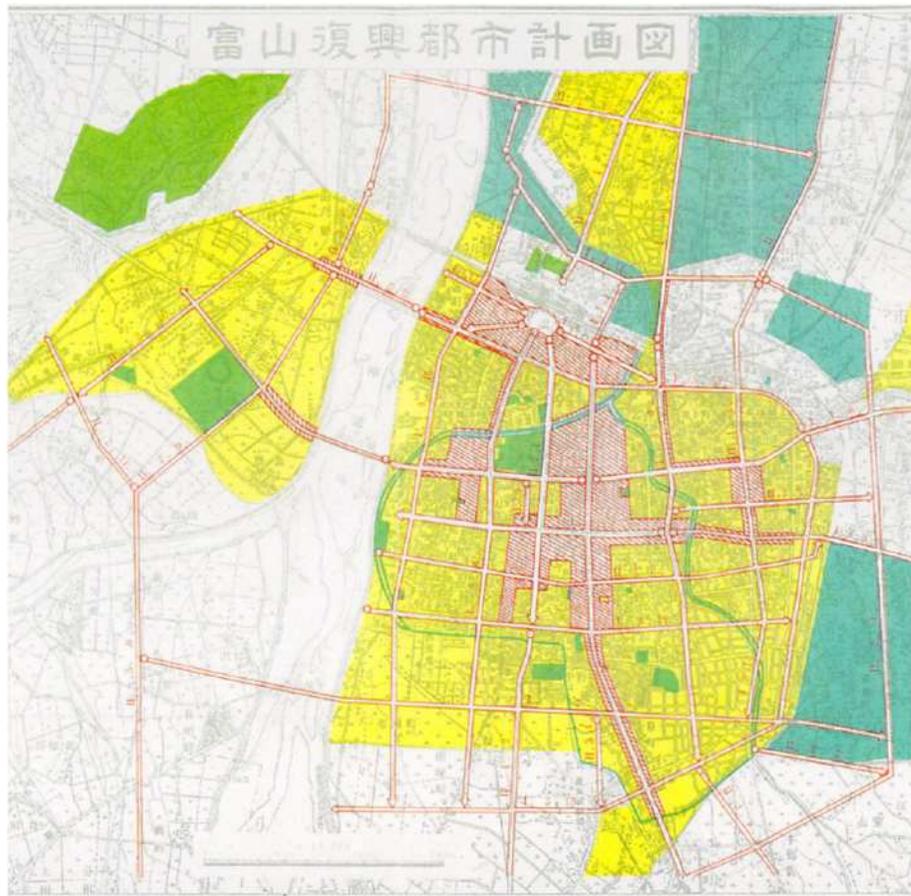
大正2(1913)年市電開通(富山駅～小泉町間)

『平成11年3月9日富山市郷土博物館だより第27号』

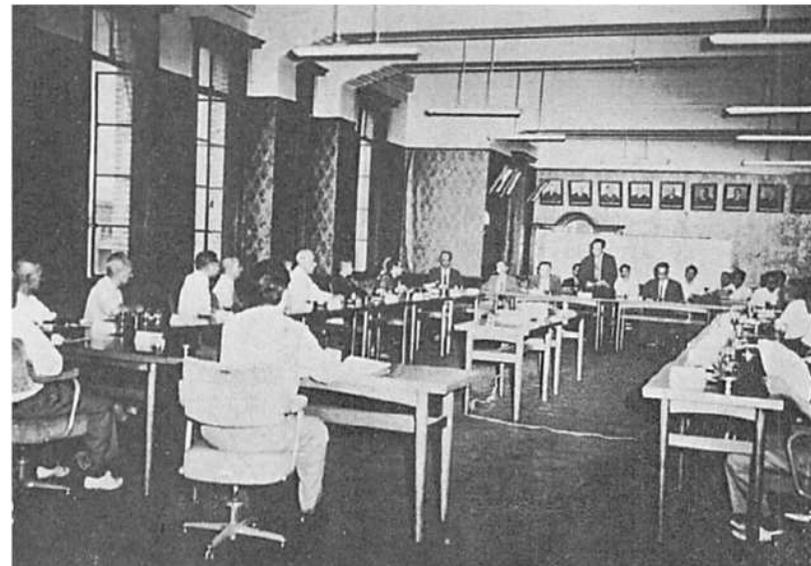
まちづくりの第2ステージ ～戦災復興とソーシャルキャピタル～



昭和20年9月1日市役所に復興部を設置し、同月20日に富山市復興審議会を設置。
富山市復興審議会は合計28回開催され、内務大臣から諮問のあった富山市復興都市計画事業について答申。
全国115の戦災復興都市計画の第一号認可を受けた。



富山復興都市計画図『富山戦災復興誌』



↑富山復興土地区画整理審議会会議の様
『富山戦災復興誌』



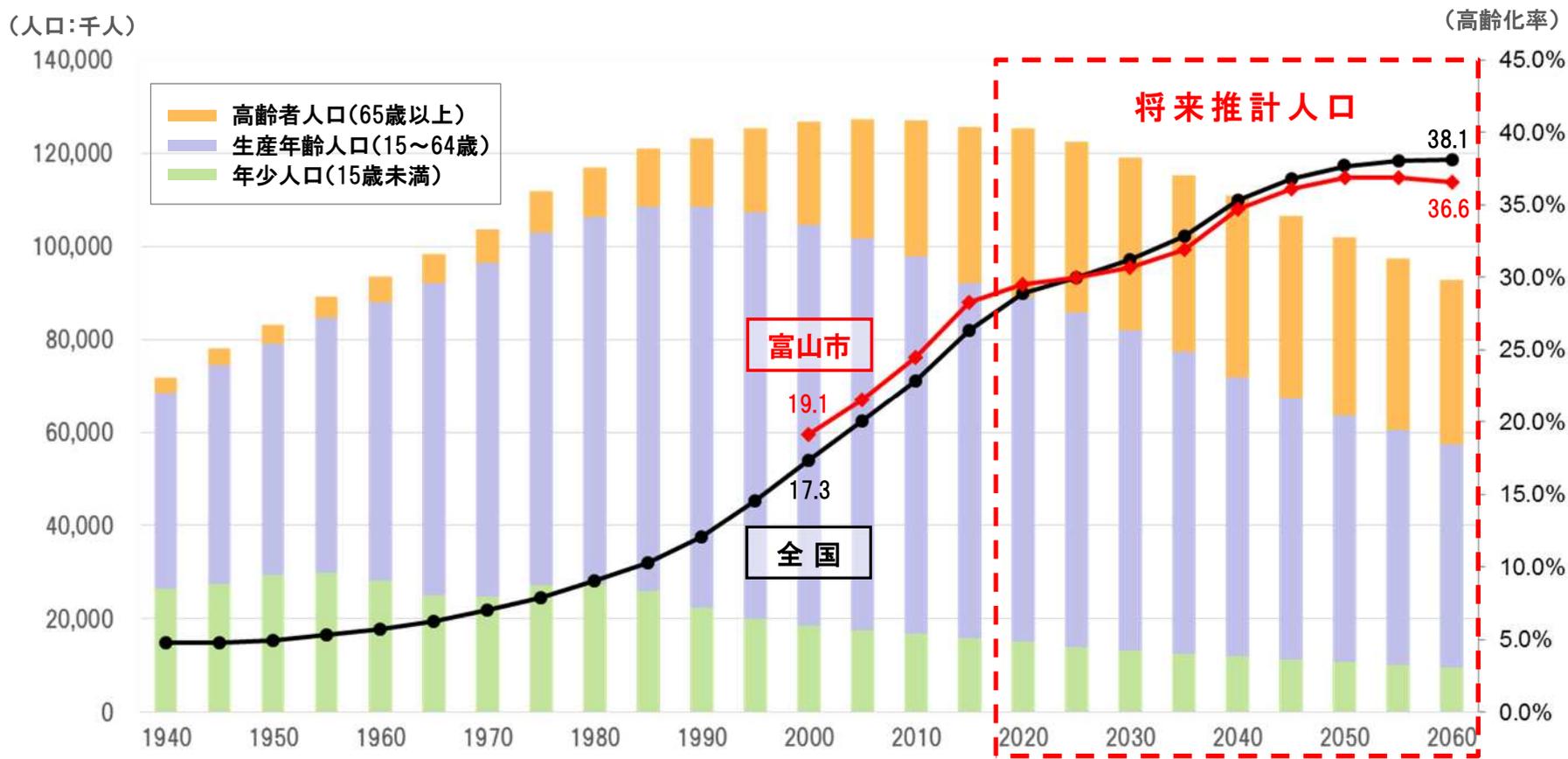
←富山市長の杭打の儀
『富山戦災復興誌』

人口減少と超高齢社会の到来



日本の総人口は2008年をピークに減少に転じ、高齢化率は今後も上昇する見込み

⇒時代の变化に柔軟かつ迅速に対応し、20年、30年先を見据え、将来の世代に責任が持てる、「持続可能な都市経営・まちづくり」が必要



まちづくりの第3ステージ ~百年の夢の実現 南北一体化~



鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、**公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり**を実現

<概念図>

富山市が目指す**お団子と串の都市構造**

串 : 一定水準以上のサービスレベルの公共交通

お団子 : 串で結ばれた徒歩圏

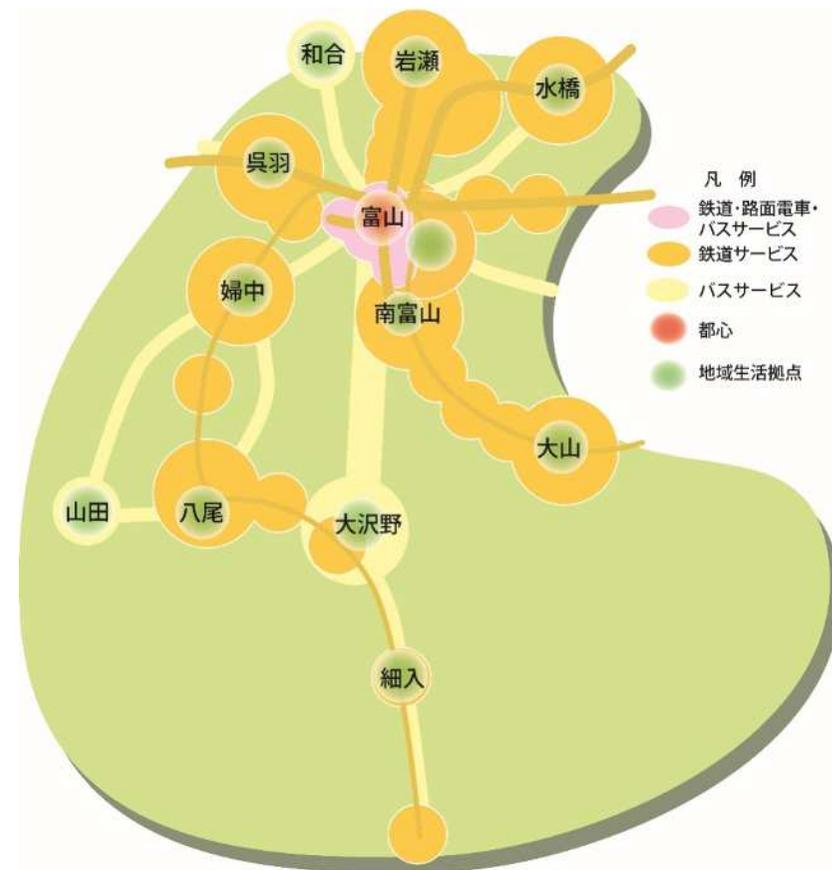
<実現するための3本柱>

①公共交通の活性化

②公共交通沿線地区への居住推進

③中心市街地の活性化

コンパクトなまちづくりの必要性を120回以上のタウンミーティングで市長が自ら市民に説明

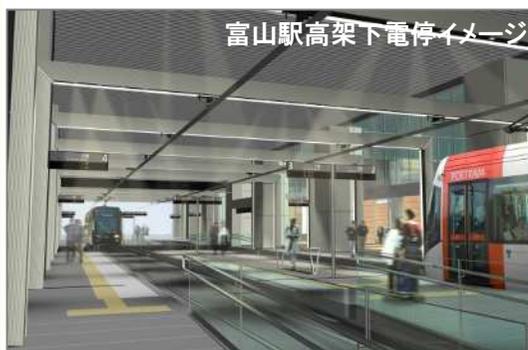




公共交通の活性化

公共交通の活性化 ～LRTネットワークの形成～

LRTネットワークの形成により、過度に車に依存したライフスタイルを見直し、**歩いて暮らせるまち**の実現を目指す。



凡例

	富山ライトレール	7.6km
	富山地方鉄道市内電車	6.4km
	環状線化	0.9km
	南北接続	0.3km
	上滝線乗り入れ	10.1km
合計=		25.3km

路面電車の南北接続事業



北陸新幹線富山駅整備及び在来線の高架化にあわせて
富山駅南北の路面電車(富山地方鉄道市内軌道・富山ライトレール)を
富山駅高架下で接続

- 2013. 4.26 軌道運送高度化実施計画(第1期区間) 認定
- 2013.12.13 軌道工事施行認可
- 2015. 3.14 第1期区間 開業
(北陸新幹線 開業)
- 2015.12. 7軌道運送高度化実施計画(第2期区間) 認定



世界でも類稀な高速鉄道とLRTの接続を実現

路面電車南北接続の意義と効果

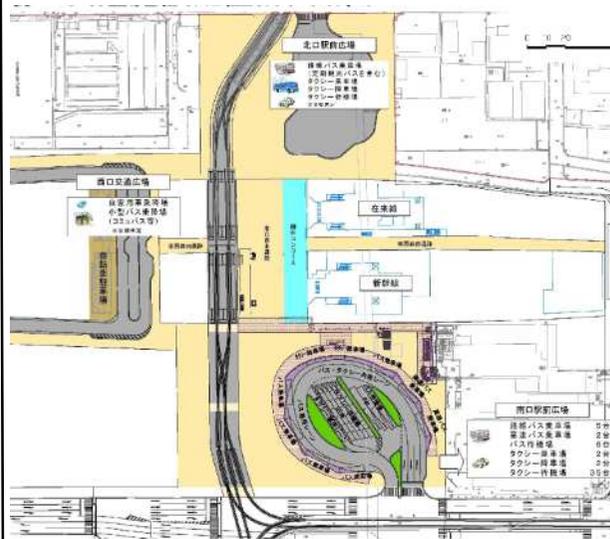


1. LRTネットワークの形成



○富山ライトレール7.6kmと市内電車7.3kmを接続することにより、**15.2kmの路面電車ネットワークが構築**される。

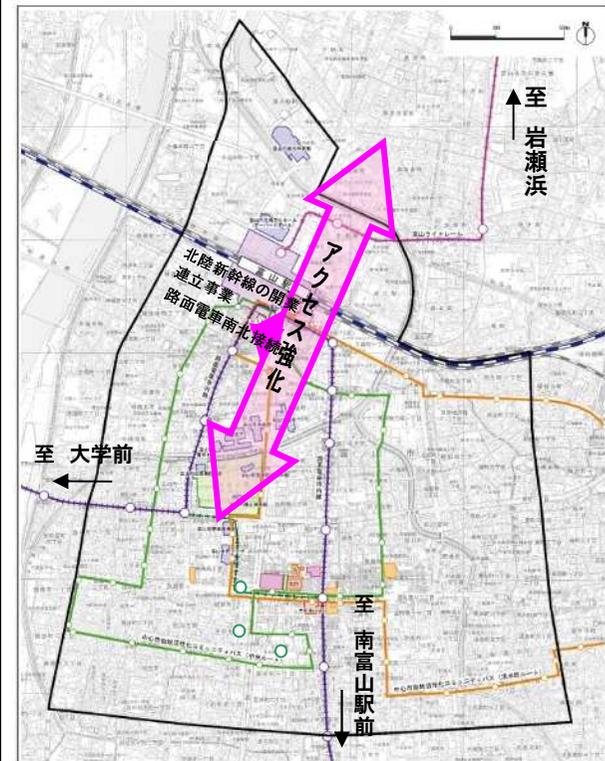
2. 交通結節機能の強化



○新幹線・在来線のほか、路線バスやタクシー、自家用車等と路面電車が有機的に接続されることにより、乗り換え利便性が格段に向上し、富山駅周辺地区の交通結節機能が強化される。

○富山駅高架下に停留場を設置することにより、乗降時・待合時の環境が向上する

3. 北部地区と中心市街地地区のアクセス強化



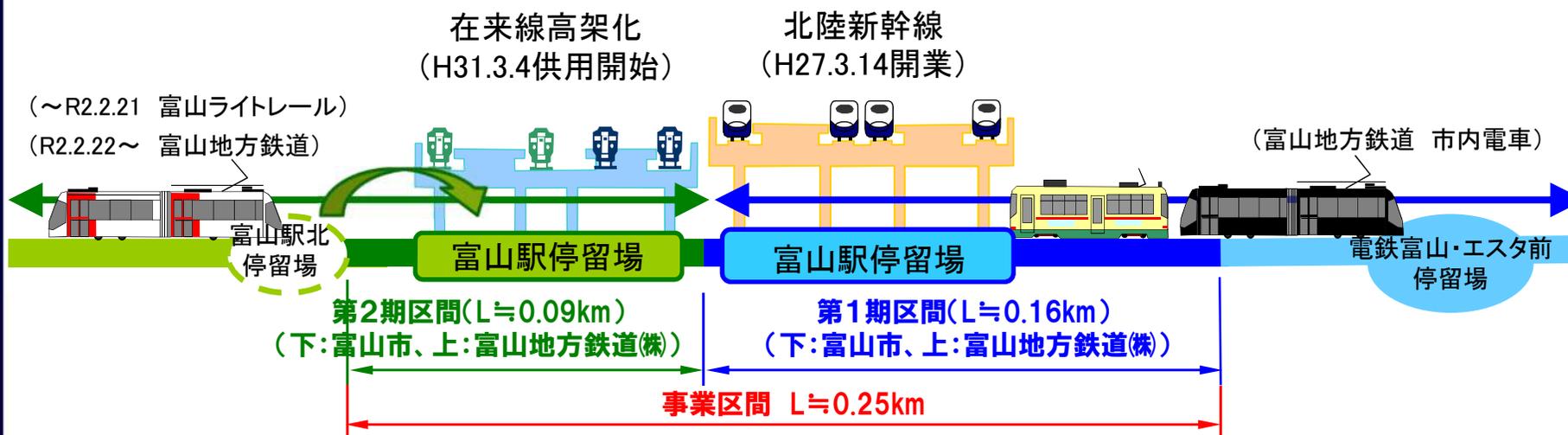
○これまで富山駅において分断されていた南北の路面電車を接続することにより、富山市の北部地域と中心市街地のアクセス強化が図られ、公共交通や中心市街地の活性化に寄与する。

※軌道運送高度化実施計画による

路面電車南北接続事業 ～事業スキーム～



「地域公共交通活性化及び再生に関する法律」の規定を適用し、市内電車環状線化事業に次いで**上下分離方式**を採用



上下分離方式とそのメリット

<p>(上) 軌道運送事業者 〔富山地方鉄道(株)〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・軌道運送事業者は、新線区間の収入を得て運行を行う ・施設新設による固定資産税・減価償却費の増大を避ける
<p>(下) 軌道整備事業者 〔富山市〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・軌道整備事業者は、施設整備及び維持管理を行う ・市の目指すコンパクトなまちづくりを民間活力により推進

路面電車南北接続事業 ～第1期事業の概要～

鉄道との乗継利便性の向上（第1期区間整備前）

■整備前の状況(平成26年度)

<課題① 乗継距離>

- ・鉄道(JR)と路面電車との乗継距離
約150m

<課題② 乗車待ち環境>

- ・乗車待ちの列が停留場に収まらない
(交差点内まで伸びて危険な状態)
- ・上屋の設置なし(風雨の影響あり)



整備前の富山駅周辺概要図(南口)



旧 富山駅前停留場での乗車待ち状況

路面電車南北接続事業 ～第1期事業の概要～



新幹線高架下(新幹線改札口の前)に路面電車停留場を設置(全国初)



シームレスな乗継の実現

乗継の分かり易さ
(目の前に路面電車が見える)

乗車待ち環境の改善
(雨や雪を気にせず安全・快適に)

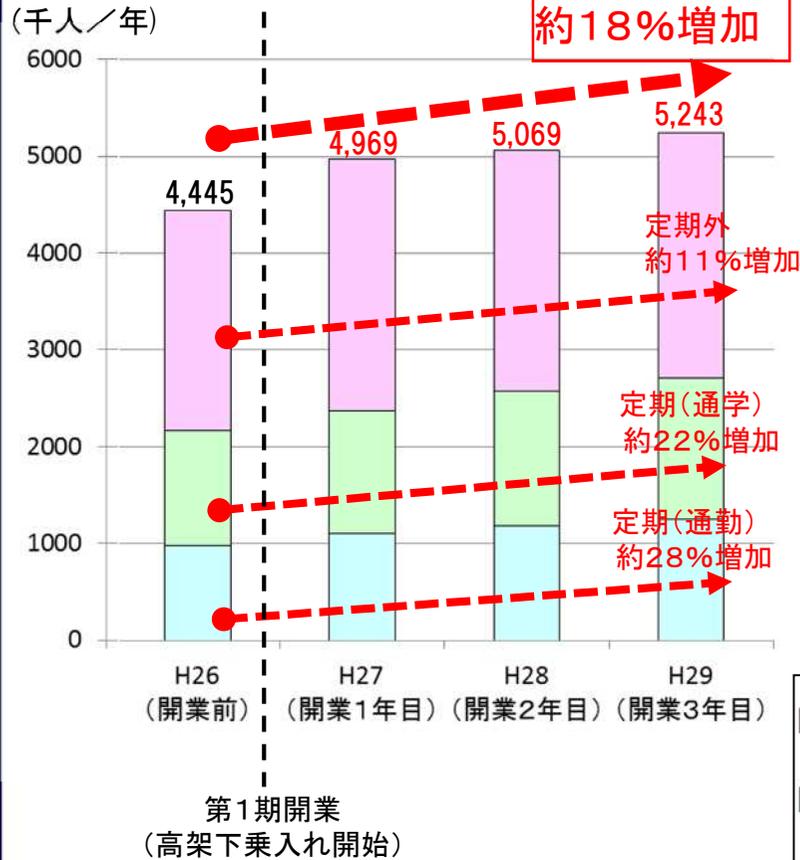


路面電車の南北接続事業

～第1期事業の整備効果～

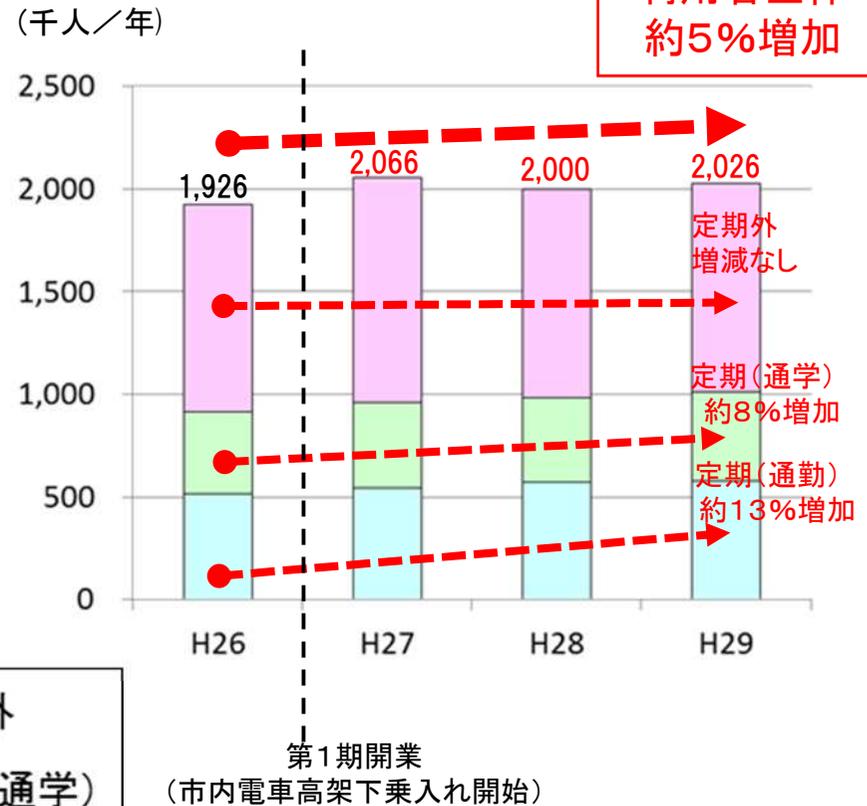


■路面電車(市内電車)利用者数 (H26～29)



高架下乗入れによる乗継利便性の大幅な向上が大きな利用増加をもたらした

■富山ライトレール利用者数 (H26～29)



南北路面電車接続前でも、富山ライトレールの利用者数が増加

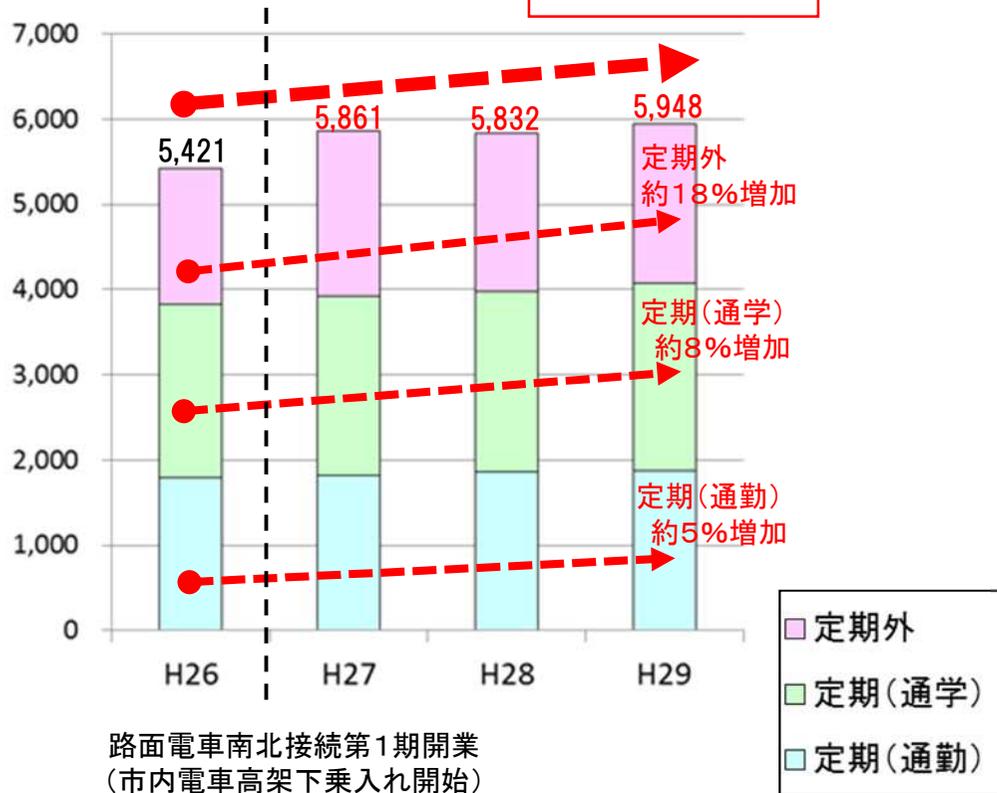
路面電車の南北接続事業

～第1期事業の整備効果～



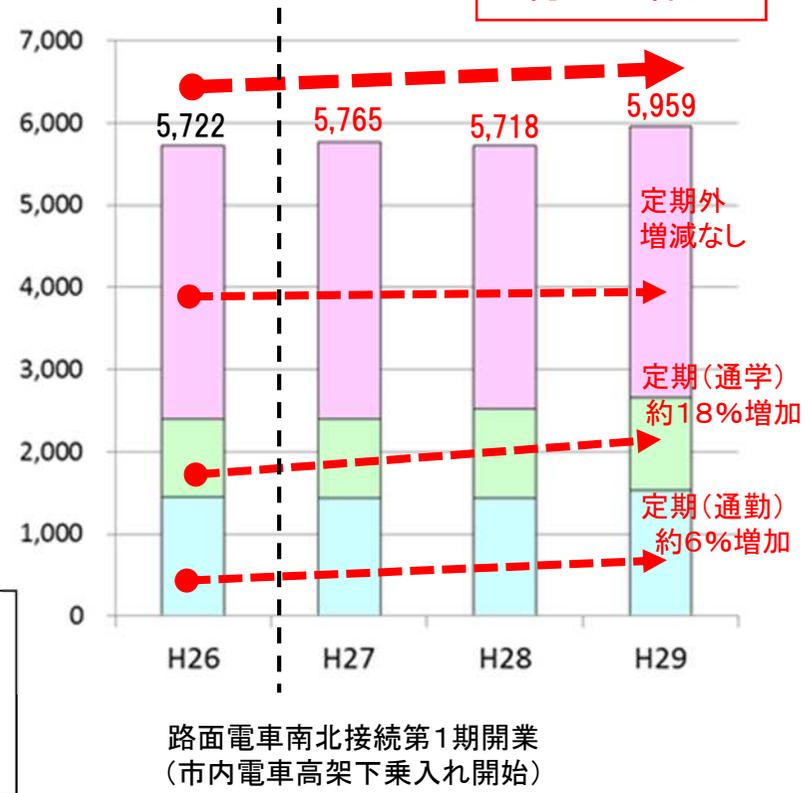
■富山地鉄鉄道線利用者数 (H26～29)

(千人/年)



■路線バス利用者数 (H26～29)

(千人/年)



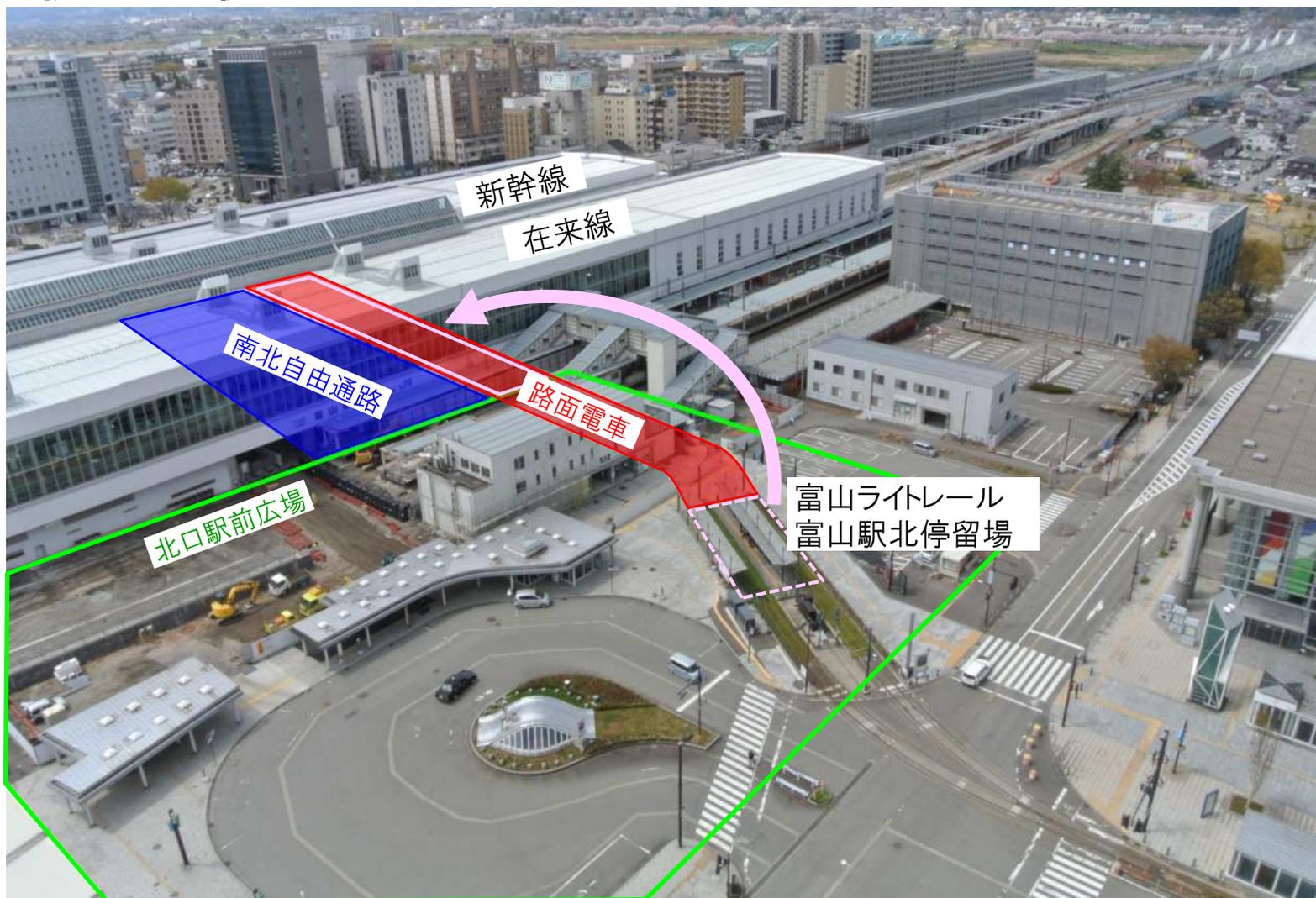
富山駅に結節する公共交通の利用者数が軒並み増加

路面電車の南北接続事業

～第2期事業の整備状況～



富山駅北口の状況



路面電車南北接続事業(第2期事業)完成イメージ

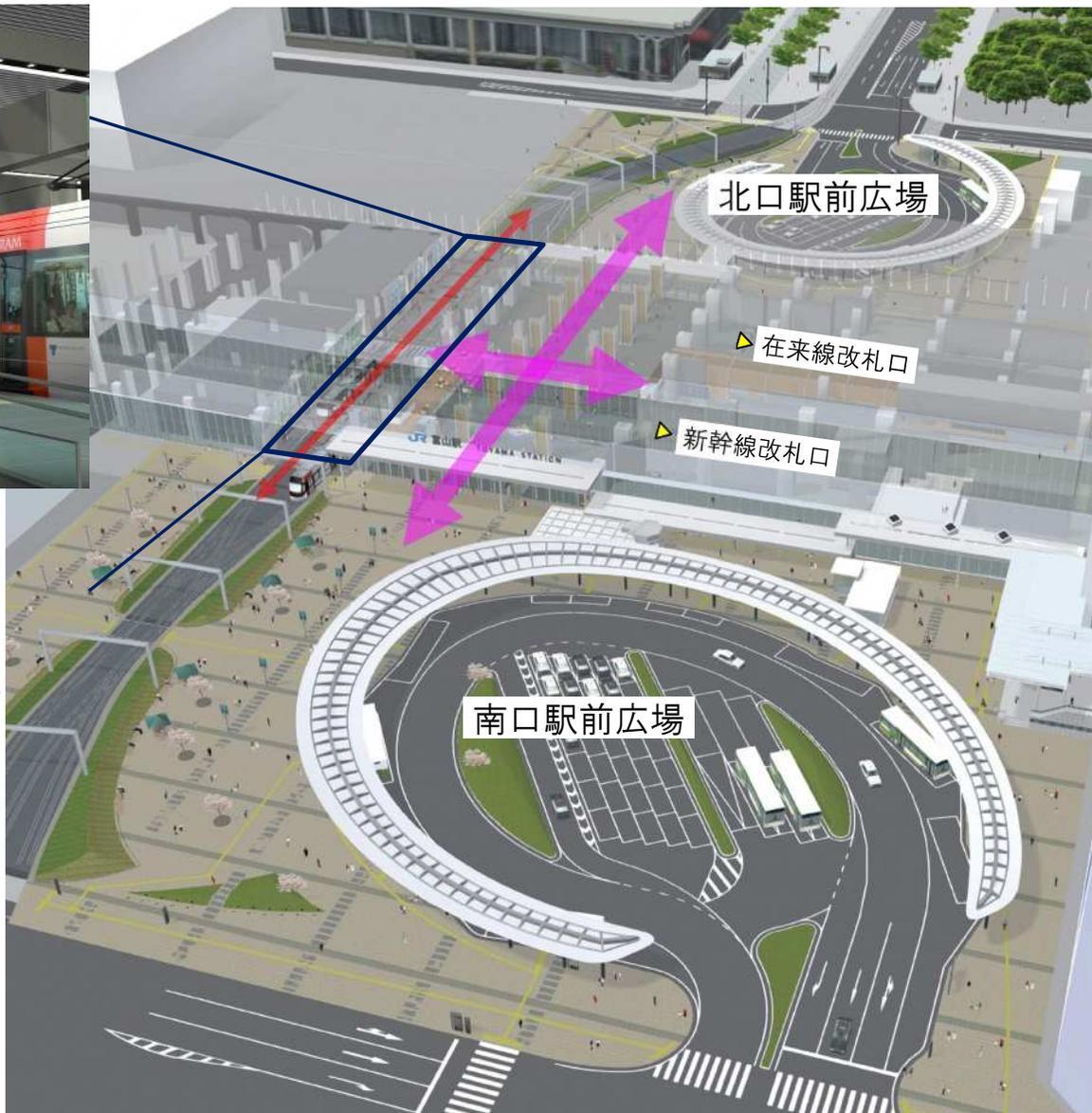


富山駅停留場

路面電車南北接続事業
(第2期区間)
令和2年3月完成予定



TOYAMA
2020.3.21



北口駅前広場

在来線改札口

新幹線改札口

南口駅前広場

南北接続後の運行計画(予定)

現在の運行



南北接続後の直通運行

■ 直通運行の概要

- ・南北直通は3ルート
- ・南北接続の効果を発揮するため、**富山港線区間の電車は全て南側に直通運転**
- ・朝ラッシュ時は通勤・通学利用に対応するため、富山港線区間の電車は**南富山方面と大学前方面に交互に直通運転**
- ・昼間帯は、中心市街地へのアクセス向上を図るため、**環状線方面を主に直通運転**



**南北接続開業日
令和2年3月21日**

- 直通便
- <朝ピーク時間帯>
 - 岩瀬浜⇄南富山
 - 岩瀬浜⇄大学前
 - <その他の時間帯>
 - 岩瀬浜⇄環状線
 - 岩瀬浜⇄南富山
 - 岩瀬浜⇄大学前

運行間隔	市内電車:5分(環状線は15分) 富山港線:15分(ラッシュ時は10分)
始発・終電	市内電車:5時台・24時台 富山港線:5時台・23時台
運賃	各路線210円(ICカード180円)

運行間隔	現在と同じ ただし、朝・夕方に増便
始発・終電	現在と同じ
運賃	全線均一 現在と同じ



富山市のLRTを活かした取組

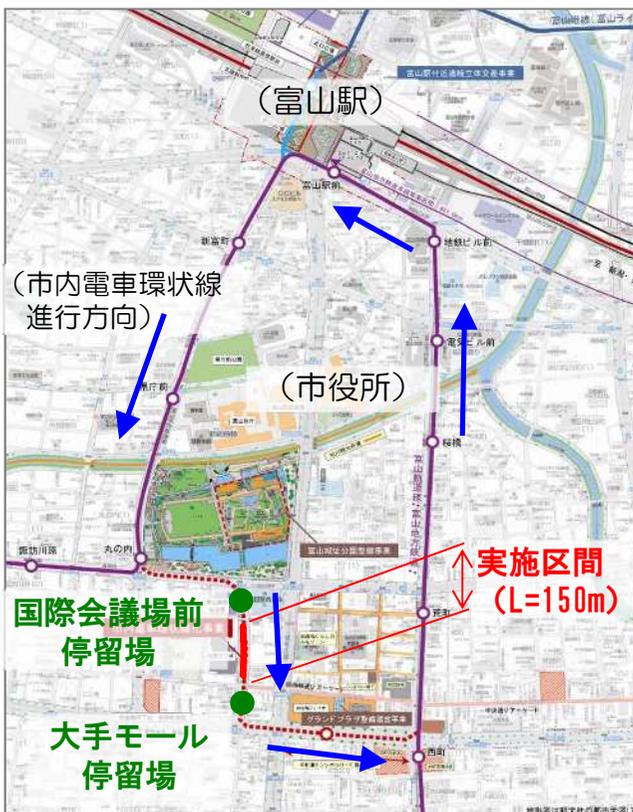
トランジットモール社会実験 ～環状線区間の一部を活用～

道路空間を活用した賑わい創出を目的として、越中大手市場等と連携し、多様なイベントを実施するトランジットモール社会実験を実施

<実施概要>

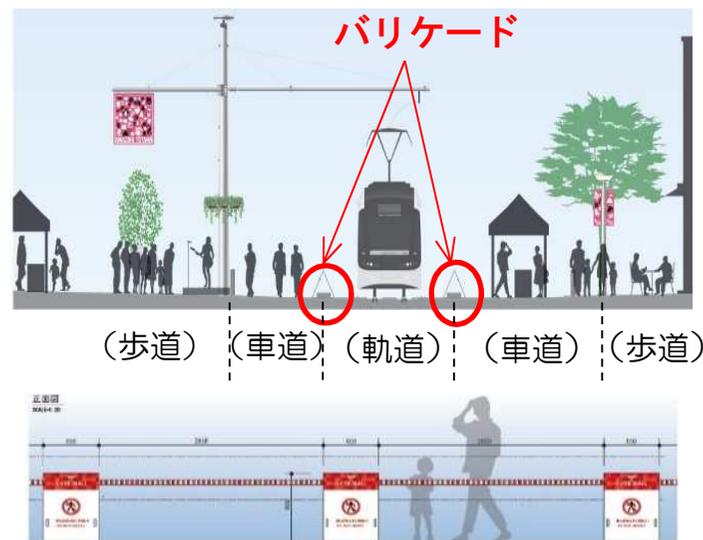
場 所:市道大手線(延長約150m)

※愛称「大手モール」



<路面電車運行概要>

- ・市内電車環状線が10分間隔で運行
- ・全便を低床車両で運行



<安全対策概要>

- ・バリケードを約3m間隔で配置
- ※横断防止機能、デザイン性の両面を配慮
- ・横断箇所を設置し、誘導員を配置

歩行者通行量
(富山市民プラザ前)

過去4回の実績
(通常時との比率)

約 6.6～10.2 倍

花Tramモデル事業

《花Tramモデル事業》

華やかで明るい空間を演出し、「花で潤うまち」を創出するため、指定の花屋で花束を購入し、市内電車等に乗車された方々の**運賃を無料化**

○期 間

平成24年11月 ~

○内 容

- ・花束を購入すると無料乗車券を進呈
- ・降車時に運転手に花束を提示し、無料乗車券を渡すと運賃が無料に

○花 屋

市内電車沿線等の計23店舗

○実 績

利用者数	平成24年度	392人
	平成25年度	598人
	平成26年度	1,290人
	平成27年度	1,759人
	平成28年度	2,036人



魅力ある都市景観の形成



■ 街路景観を演出するハンギングバスケット、バナーフラッグ等の設置



シティプロモーション ～滞在型観光の推進～



市内宿泊者に、路面電車の乗車券(2回分)をプレゼント **外国人:無料利用券** **日本人:半額利用券**

市内路面電車 無料利用券をプレゼント!

外国人の方のみ有効

ようこそ富山へ
富山市内に宿泊される外国人に、市内路面電車の無料利用券をお渡ししています。ご希望の方はホテルフロントにてお申し出ください。



※ 英語 中国語 台湾語 韓国語 ロシア語 の5言語の無料利用券を用意しております。

有効区間 | 富山ライトレール全線
富山地方鉄道市内軌道線全線



市内路面電車 半額利用券プレゼント中!

1乗車 大人200円(小人100円)が半額になります。



富山市内に宿泊される方に、路面電車に半額で乗車できる利用券をお渡ししています。

お受け取り方法

取扱い宿泊施設で宿泊数に関係なくお1人につき1枚(2回乗車分)お渡しします。ご希望の方は、取扱い宿泊施設のフロントにお知らせください。
※取扱い宿泊施設については、下記のホームページをご確認ください。
<http://www.b.city.toyama.toyama.jp/kanko/>

富山市 路面電車 半額券 検索

●富山ライトレール/富山地方鉄道市内軌道線 路線図

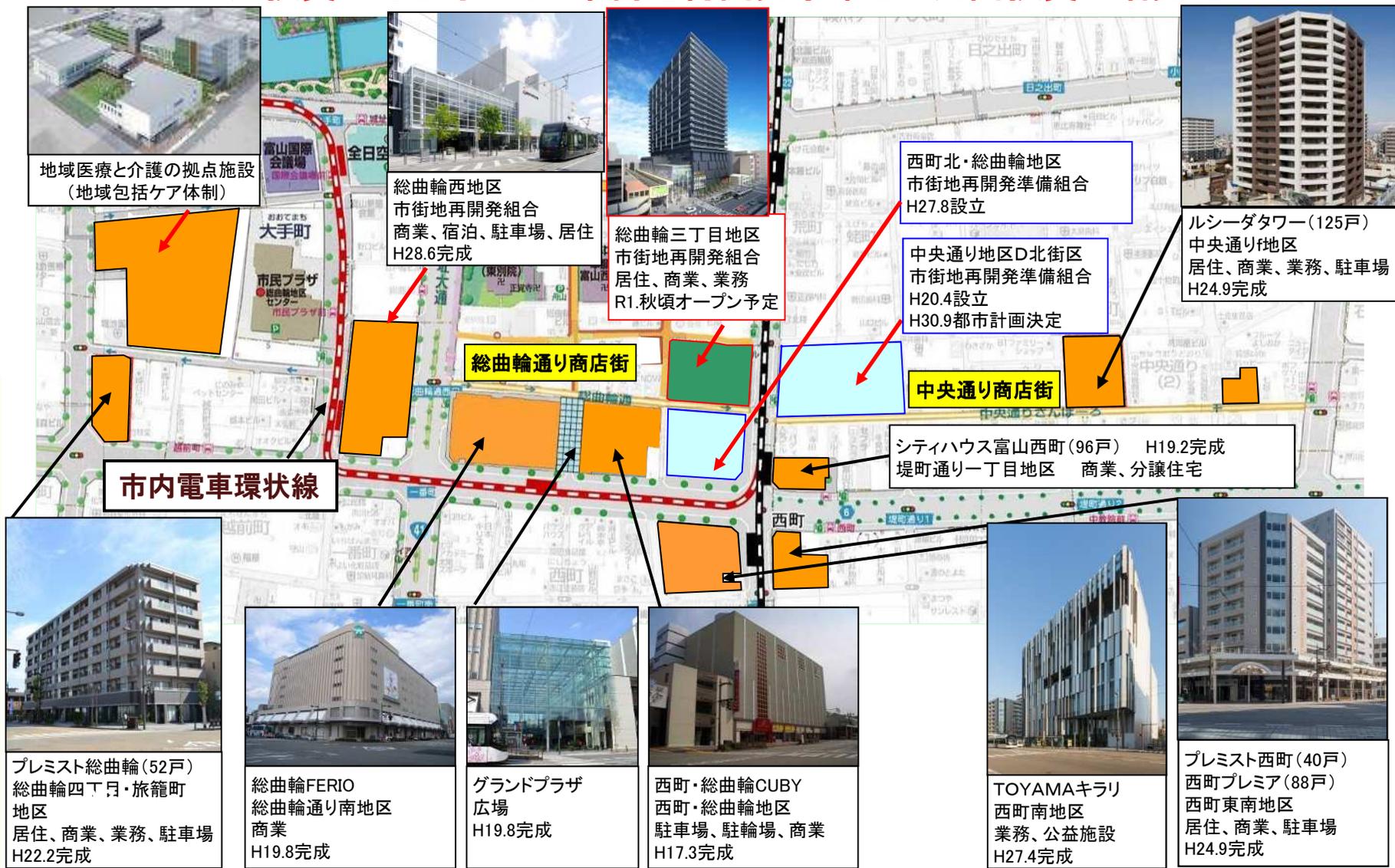




コンパクトなまちづくりの効果等

中心市街地において活発化する民間投資

公共投資が呼び水となり市街地再開発事業など民間投資が活発化



地域医療と介護の拠点施設 (地域包括ケア体制)

総曲輪西地区 市街地再開発組合
商業、宿泊、駐車場、居住
H28.6完成

総曲輪三丁目地区 市街地再開発組合
居住、商業、業務
R1 秋頃オープン予定

西町北・総曲輪地区 市街地再開発準備組合
H27.8設立

中央通り地区D北街区 市街地再開発準備組合
H20.4設立
H30.9都市計画決定

ルシーダタワー (125戸)
中央通り地区
居住、商業、業務、駐車場
H24.9完成

中央通り商店街

シティハウス富山西町 (96戸) H19.2完成
堤町通り一丁目地区 商業、分譲住宅

市内電車環状線

総曲輪通り商店街

プレミスト総曲輪 (52戸)
総曲輪四丁目・旅籠町地区
居住、商業、業務、駐車場
H22.2完成

総曲輪FERIO
総曲輪通り南地区
商業
H19.8完成

グランドプラザ 広場
H19.8完成

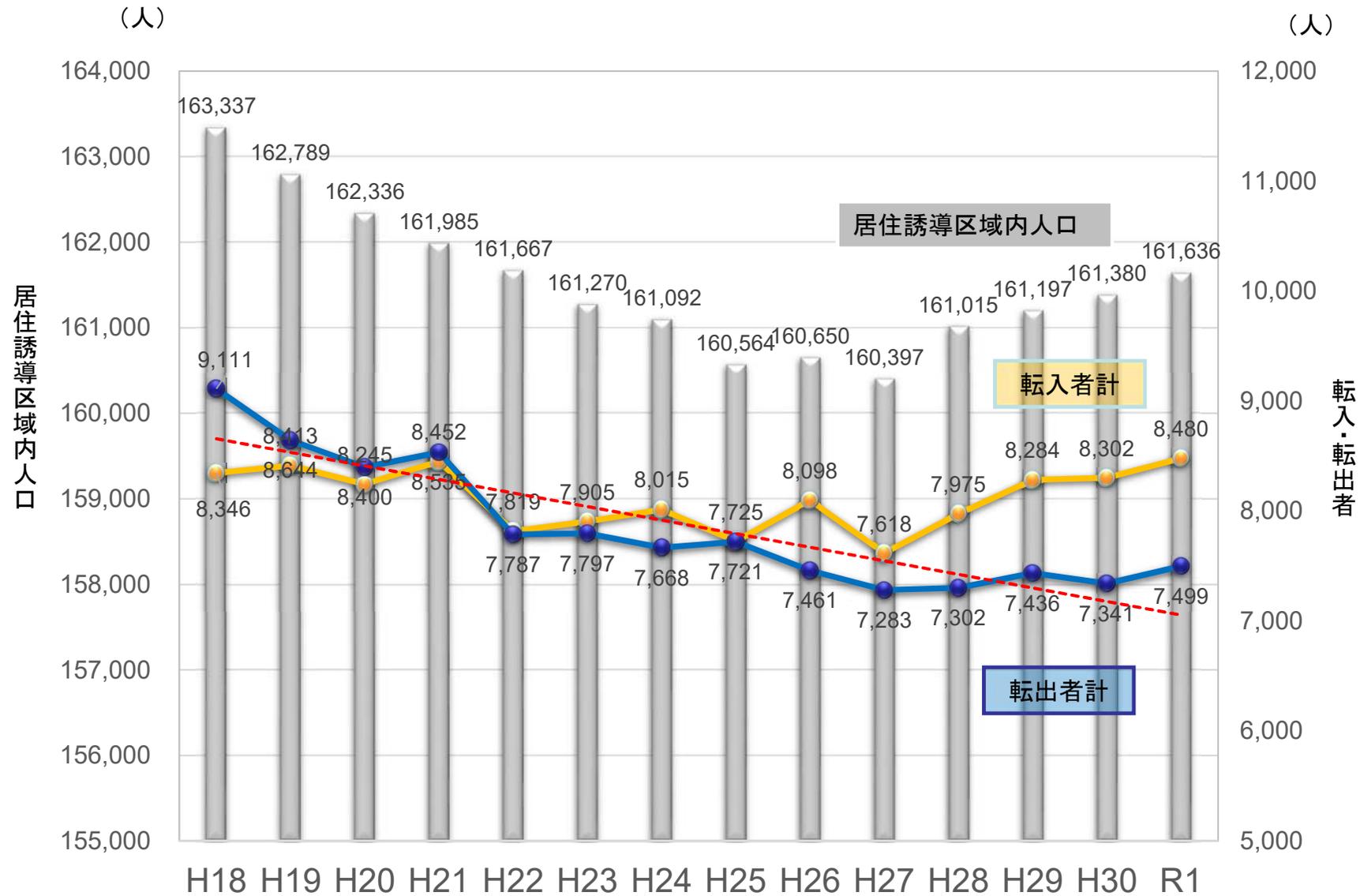
西町・総曲輪CUBY
西町・総曲輪地区
駐車場、駐輪場、商業
H17.3完成

TOYAMAキラリ
西町南地区
業務、公益施設
H27.4完成

プレミスト西町 (40戸)
西町プレミア (88戸)
西町東南地区
居住、商業、駐車場
H24.9完成

コンパクトなまちづくりの効果

～居住誘導区域内人口の推移～



コンパクトなまちづくりの効果 ～人口の維持力～

1. 富山市の総人口は、日本及び富山県全体と同様に減少傾向にある。
2. 富山市は、高齢化に伴う自然減(出生-死亡)により、総人口は減少しているが社会増減(転入-転出)では、近年は転入超過基調となっている。
3. 富山市の人口減少率は、富山県全体と比較すると鈍化している。

【人口増減等の比較(平成29年1月1日～29年12月31日までの1年間)】

	人口(人)30.1.1	増減数(人)	増減率(%)
全国(日本)	125,209,603	▲374,055	▲0.30
富山県	1,052,868	▲7,063	▲0.67
富山市	411,210	▲1,283	▲0.31
富山市以外	641,658	▲5,780	▲0.89

○出典 総務省:住民基本台帳に基づく人口動態調査(H30.7.11発表)※外国人を除く

【富山市の人口動態(平成29年1月1日～29年12月31日までの1年間)】

出生(人)	死亡(人)	転入等(人)	転出等(人)	合計(人)
3,093	4,740	10,139	9,775	▲1,283

1,647人の自然減

364人の社会増(転入超過)

○出典 富山市資料※外国人を除く

コンパクトなまちづくりの効果 ～地価公示(H31年1月1日)結果～

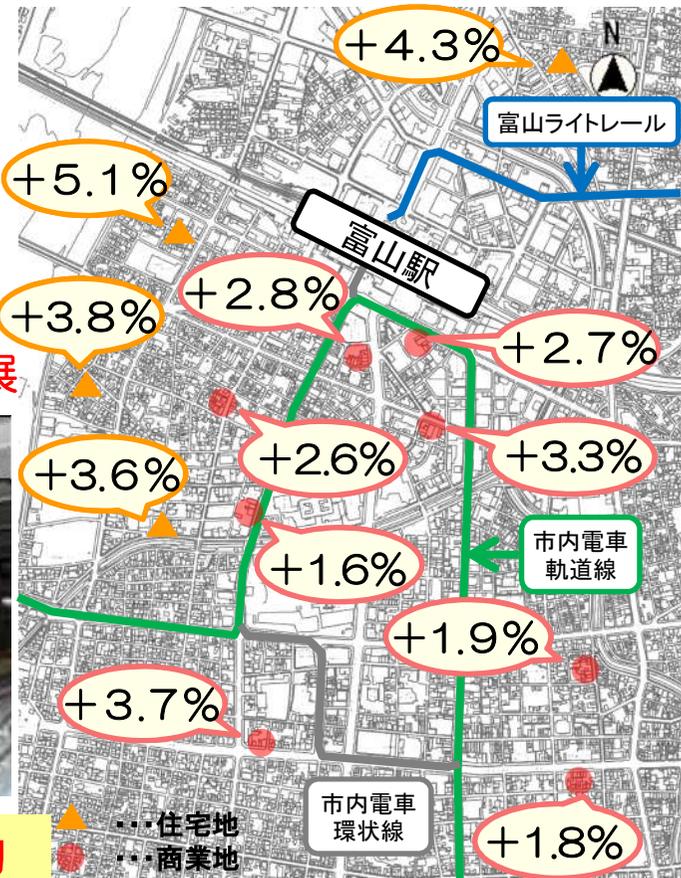


- 県全体の地価平均は、平成5年以降(27年連続)下落 平均▲0.1%(全用途平均)
- 富山市では、**5年連続で地価(全用途平均)が上昇**
- 富山市全体では**平均+0.7%(前年比)上昇**
- 商業地は**富山駅周辺や環状線沿線を中心に15地点**で上昇
- 住宅地は**市内37地点で上昇** (前年より25地点増)

(平成31年地価公示より)
 ※地価調査(国調査、基準日:1月1日)
 調査地点数(市内106地点)

<上昇の要因>

- 商業地: **路面電車南北接続への期待感、民間による再開発の活発化**
- 住宅地: **中心市街地周辺での利便性、まちなか居住・公共交通沿線居住推進政策の進展**



【地価が上昇した地点】

[参考] 富山県地価調査(H30年7月1日)で、全用途平均の基準地価が5年連続で上昇(北信越都市では、富山市のみ)

コンパクトなまちづくりの効果 ～固定資産税・都市計画税の推移～



平成24年と平成31年の4月当初の課税標準額に税率を掛けたものを比較すると、中心市街地エリアでは、8.1%増。市域全体では、11.5%増えている。

中心市街地

(単位:千円)

	固定資産税	都市計画税	合計
平成24年度	4,782,978	920,163	5,703,141
平成25年度	4,817,768	926,070	5,743,838
平成26年度	4,839,661	929,845	5,769,506
平成27年度	4,774,427	918,832	5,693,259
平成28年度	4,873,546	1,123,964	5,997,510
平成29年度	4,949,822	1,140,571	6,090,393
平成30年度	4,927,487	1,137,301	6,064,788
平成31年度	5,006,811	1,155,561	6,162,372
差し引き (H31/H24)	223,833	235,398	459,231
率(%) (H31/H24)	104.7%	125.6%	108.1%

市域全体

(単位:千円)

	固定資産税 (償却資産含む)	都市計画税	合計
平成24年度	28,728,653	3,165,910	31,894,563
平成25年度	29,003,963	3,198,231	32,202,194
平成26年度	29,317,127	3,244,354	32,561,481
平成27年度	29,069,634	3,206,402	32,276,036
平成28年度	30,048,113	3,913,318	33,961,431
平成29年度	31,012,591	3,981,281	34,993,872
平成30年度	31,056,581	3,961,534	35,018,115
平成31年度	31,537,809	4,033,186	35,570,995
差し引き (H31/H24)	2,809,156	867,276	3,676,432
率(%) (H31/H24)	109.8%	127.4%	111.5%

4月当初の課税標準額に税率を掛け算出した額(免税点未満や減免等を含む)



歩くライフスタイルの促進

歩くライフスタイル推進の背景(公共交通の視点)

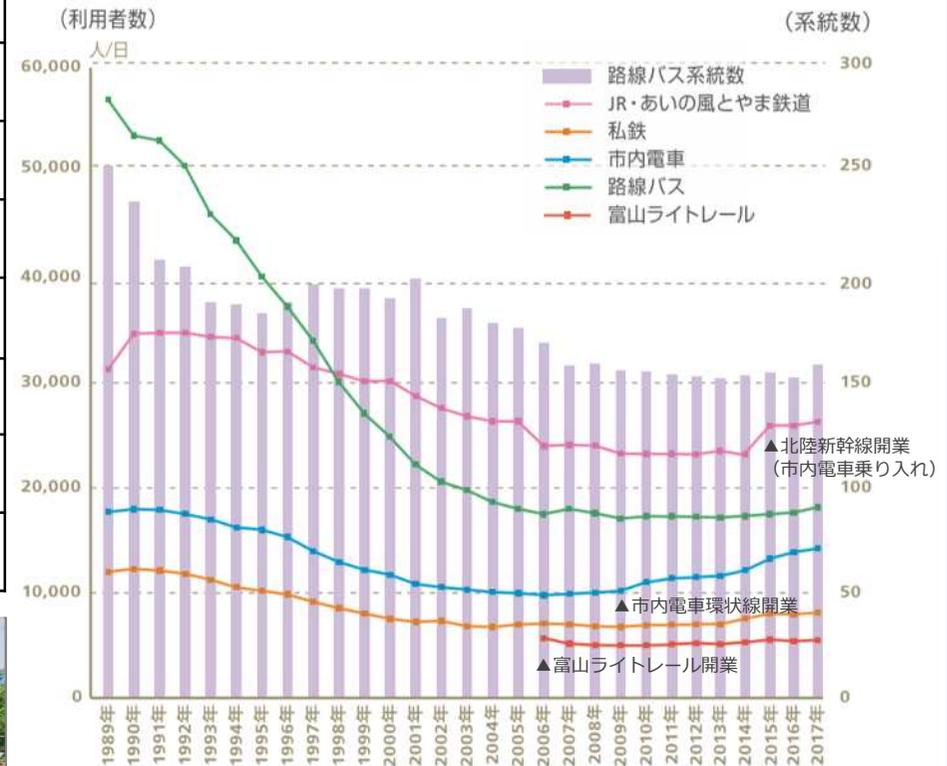


- 公共交通活性化による利用者数の増加
- 令和元年度末の路面電車南北接続という大きな節目を控え、これまで進めてきた公共交通ネットワークを活かした新たなまちづくりステージへ

● 公共交通活性化及び整備に関する事業年表

年月	事業名称
平成18年 4月	富山ライトレール開業
平成18年10月	JR高山本線活性化社会実験開始
平成21年12月	市内電車環状線開業
平成23年 3月	JR高山本線活性化事業開始
平成23年 9月	富山地鉄不二越・上滝線活性化事業開始
平成27年 3月	新幹線高架下への市内電車乗り入れ
令和 2年 3月	路面電車南北接続事業の事業完了

● 公共交通の利用者数の推移



出典：富山市統計書

※JRに関しては、平成27年3月14日以降のあいの風とやま鉄道利用者数を含む



富山市歩くライフスタイル戦略(ライフスタイルイメージ)



中心市街地

まちを楽しむ
アメニティ指向型

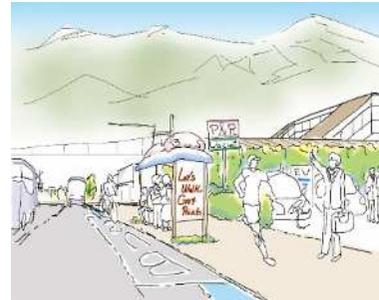


【目指す将来像】

- 住む人も来る人も、まちでの散策(=歩き)を楽しむ。
- 四季を通して、まちが賑わい、人々の交流が盛んで、まちに活気が生まれている。
- 公共交通による来街の良さや快適さ、楽しさが発信されている。

都市近郊の市街地

多様な交通手段を利用する
スマートチョイス型



【目指す将来像】

- 移動手段を賢く使い分けて生活
- 健康を意識しつつ、車の利用を控え、積極的に公共交通や徒歩での移動を選択している。
- 中心市街地と郊外地域の両地域の暮らしを享受できる環境を活かし、個人にあった、多様な暮らし方を楽しんでいる。

公共交通沿線の市街地

過度に車に依存しない
公共交通指向型

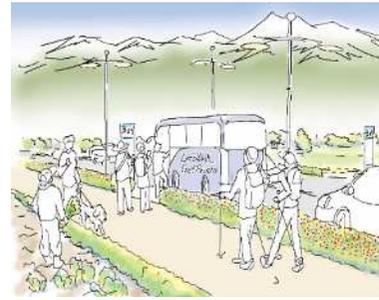


【目指す将来像】

- 公共交通を利用し、便利で快適に生活している。
- 普段から歩く健康づくりを格好よく実践し、公共交通沿線の利便性の高いところに暮らすことの良さを実感・発信。

郊外地域(調整区域や白地地域など)

自然に親しむ郊外型



【目指す将来像】

- 田園や自然に囲まれ、スローライフを楽しんでいる。
- 車に依存しすぎることなく、公共交通も利用した外出を適度実践している。
- 身近にある山・川や、里山などの環境を活かし・親しむ健康づくりを行っている。

歩くライフスタイルの普及(Toyama Smart Life Point 事業)



- 歩く行動に対してポイントを付与するスマホアプリを開発
- ポイントに応じた景品をインセンティブとして、歩くライフスタイルを普及



※イメージ図

①歩いてポイント



歩数計機能

②公共交通を利用してポイント



Beacon
対応

ポイント付与



参加
確認

GPS
QRコード

GPS・QRコード対応



イベント
情報

Beacon

③イベントに参加してポイント

【抽選により景品】





まちづくりの未来像

路面電車が人と街と未来をつなぐ



新幹線時代の玄関にふさわしい、便利な交通サービス

つな
がる。
ひろ
がる。
TOYAMA
2020.3.21



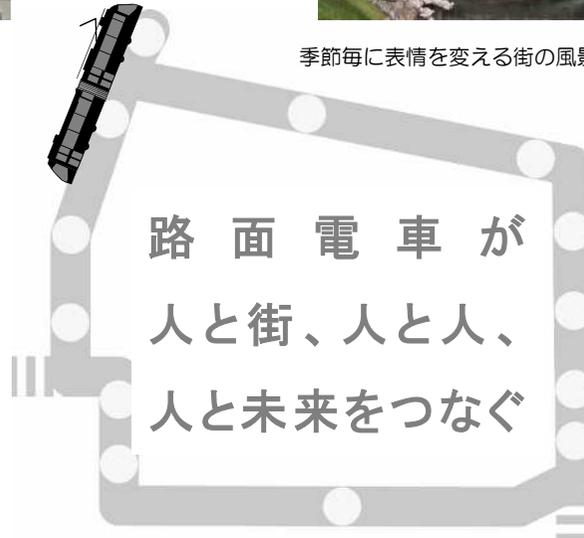
季節毎に表情を変える街の風景を引き立てます



イベント空間としても活躍



AMAZING TOYAMA



路面電車が
人と街、人と人、
人と未来をつなぐ



夢と活気を未来へ



街を彩るストリート
ファニチャー



未来の街を予感させる
トランジットモールの空間



新しい魅力をまとう
都心ショッピングストリート



美術館整備により、
さらに滞在したい都心へ



花で潤うまち